

平成 15 年 6 月 3 日

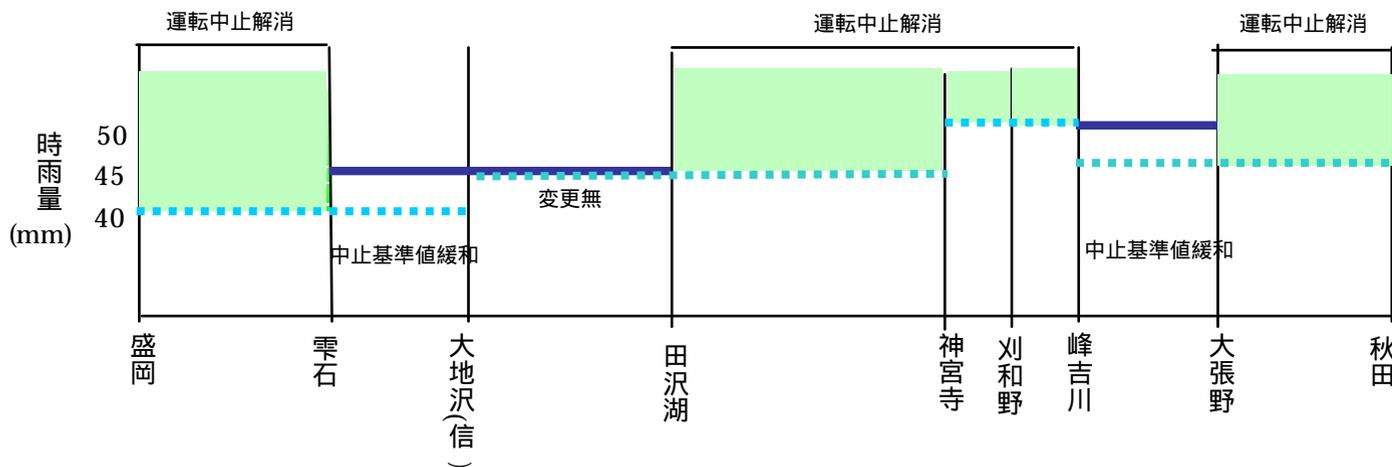
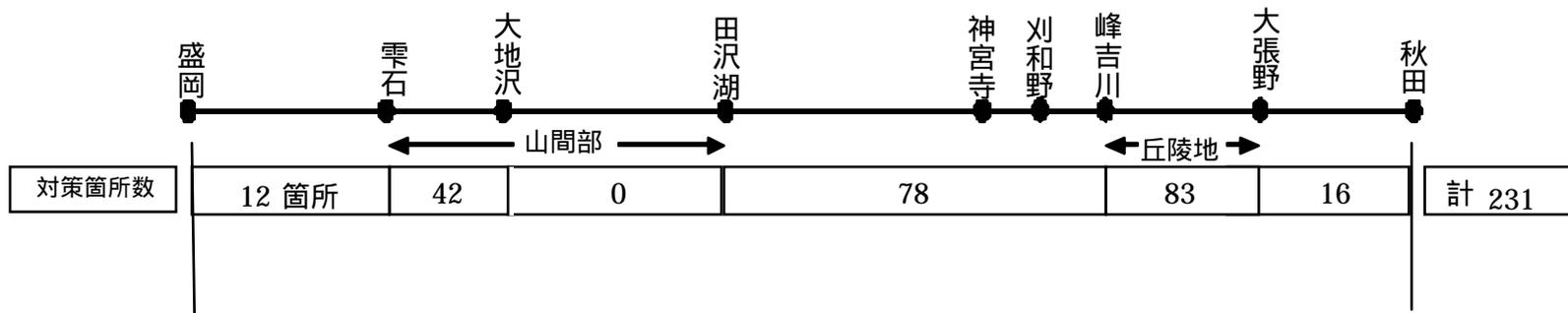
秋田新幹線降雨防災強化工事完了に伴う 降雨時の運転規制改正について

JR 東日本では大雨の時には、列車の運転中止や速度規制を実施しておりますが、降雨防災強化工事を順次実施し、設備の防災強化向上を図り、これらの運転規制の緩和を進めております。

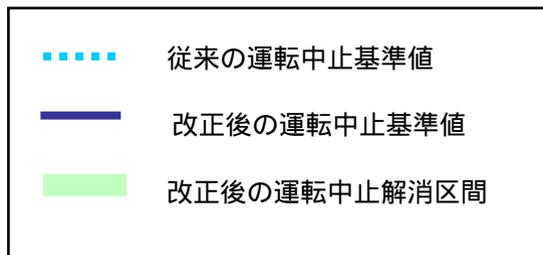
秋田新幹線盛岡～秋田間においては、昨年 4 月から実施してきた降雨防災強化工事が完了することから、6 月 16 日に同区間の降雨時の運転規制値を改正します。

改正内容は、山間部の雫石～田沢湖では、運転中止となる時雨量を 40mm から 45mm に、また、丘陵地の峰吉川～大張野では時雨量を 45mm から 50mm に改正します。さらに、比較的平坦な盛岡～雫石、田沢湖～峰吉川、大張野～秋田間については、運転中止を解消します。これにより豪雨時の列車の運転中止や速度規制は、約半分に改善されます。今回の強化工事では、盛土や切取等の斜面の土砂崩壊防止を図るため、コンクリート製の格子枠や排水パイプ等を施工し、工事費は全体で約 2.4 億円要しました。

運転規制改正の概要図

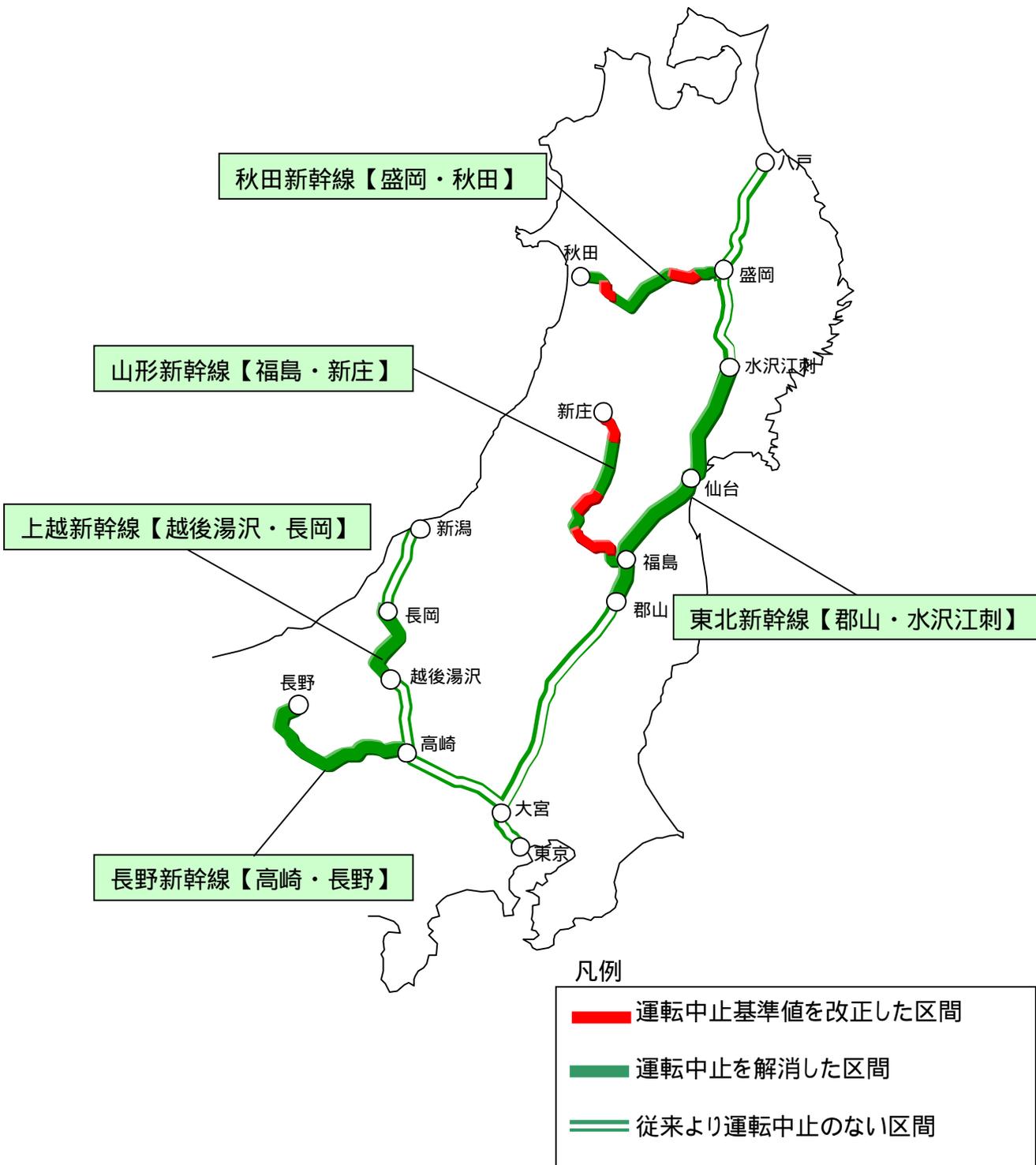


[凡例]



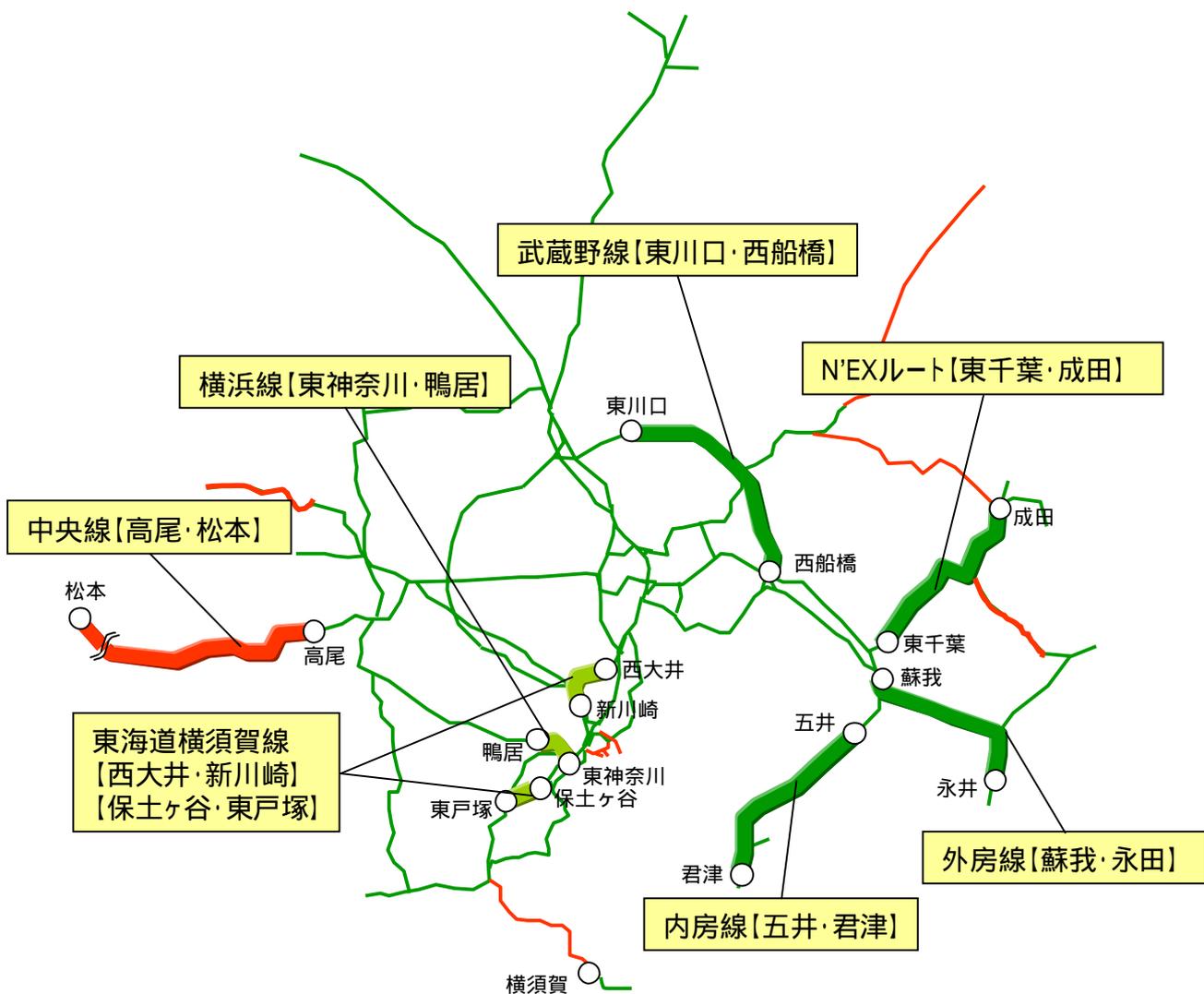
これまでの新幹線、及び新在直通線降雨防災強化対策線区

2003.6.16時点



これまでの在来線降雨防災強化対策線区

2003.6.16時点



凡例

- : 運転中止を解消した区間
- : 運転中止の基準値を改正した区間
- : 規制速度の向上区間
- : 運転中止のある区間

【新幹線降雨防災対策】

(工事費:億円)

線名	区間	規制改正内容	改正時期	工事費
長野	高崎～長野	「運転中止」解消	H14年6月	約15
山形	福島～新庄	「運転中止」解消 「運転中止基準値」改正	H14年6月	約22
東北 上越	郡山～水沢江刺 越後湯沢～長岡	「運転中止」解消	H14年12月	約3
秋田	盛岡～秋田	「運転中止」解消 「運転中止基準値」改正	H15年6月	約24

【在来線降雨防災対策】

(工事費:億円)

線名	区間	規制改正内容	改正時期	工事費
N'EXLト	東千葉～成田	「運転中止」解消	H6年6月	約29
武蔵野線	東川口～西船橋	「運転中止」解消	H12年6月	約20
中央線	高尾～松本	「運転中止基準値」改正	H12年6月	約39
横浜線	東神奈川～鴨居	「規制速度」向上	H14年6月	約2
内房線	五井～君津	「運転中止」解消	H14年12月	約6
外房線	蘇我～永田	「運転中止」解消	H15年6月	約16
横須賀線	西大井～新川崎 保土ヶ谷～東戸塚	「規制速度」向上	H15年4月 H15年6月	約3

[用語の解説]

「運転中止」解消 : 運転中止を無くし、速度規制のみとした。

「運転規制基準値」改正 : 運転中止基準値を緩和した。

「規制速度」向上 : 速度規制時の列車速度を15km/hから35km/hに向上した。

これまで、新幹線、在来線を合わせて、約180億の降雨防災投資を行い、現在では、東北・上越・長野新幹線のフル規格新幹線では、降雨時の運転中止が解消され、首都圏の在来線では、従来に比べ、年間10回程度、降雨時の運転規制回数が減少しています。